

英語科学習指導案

実施学級 第2学年 1組 41名
 実施日時 令和7年11月18日5時限
 実施場所 1年1組教室
 指導者 岸本 修平

1 単元名

Lesson 6 「Friends in Singapore」

2 単元目標

シンガポールを中心に海外の文化を知るとともに、日本の良さや伝統を伝えることができるようになる。
 また、比較級・最上級を用いて、身の回りのものを比較できるようになる。

3 評価の観点

観点	評価観点別目標
知識・技能	形容詞の比較級・最上級(-er/-est/more/most/as...as~)を用いた文の構造を理解している。
思考・判断・表現	身の回りの比較ができる。また、日本の良さや伝統を伝える場面では、それがどのくらい人気があるのか、他の物と比べたるとどんな形なのか、大きさなのかなど、アンケートをとったりしながら、比較できる。
主体的に学習に取り組む態度	単語の発音や音読、ペアワーク等において積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとしている。

4 単元全体の指導計画 (全11時間)

第一次	①②/11	授業名	身の回りの比較をしよう。
		ねらい	「-er」を用いることで、2つの人や物の比較ができることに気付かせる。
		「深い学び」への指導ポイント	他者参照させ、身の回りの比較について多く触れることができるよう支援する。
第二次	③④/11	授業名	身の回りの比較をしよう。
		ねらい	「-est」を用いることで、3人の人や物の比較ができることに気付かせる。
		「深い学び」への指導ポイント	他者参照させ、身の回りの比較について多く触れることができるよう支援する。
第三次	⑤⑥/11	授業名	人気のあるもの調査をしよう。
		ねらい	「more/most」を用いることで、つづりの長い形容詞を用いた比較ができることに気付かせる。
		「深い学び」への指導ポイント	Formsのアンケートをとり、クラス内の人気の順番を調べる。
第四次	⑦⑧/11	授業名	シンガポールに帰国したモナからのお礼の手紙を読む。
		ねらい	比較級・最上級を用いたまとまった英文を読み、手紙の概要を読み取る。
		「深い学び」への指導ポイント	デジタル教科書を用いて、自分のペースで音読練習を行う。

第五次	⑨⑩⑪/11	授業名	海外に日本の良さを発信しよう。
		ねらい	日本の良さをタブレット端末で調べる。
		「深い学び」への 指導ポイント	タブレット端末のイメージマップを活用する。他者参照させることで考えを広げる手助けをする。

5. 本時（第五次 1時間目）

(1) 本時の指導目標

- ・タブレット端末を活用し、日本の良さや伝統を調べよう。

観点	目標	手立て
知識及び技能	形容詞の比較級・最上級を用いた文の構造を理解している。	既習事項の簡単な復習を行い、英文作りの手助けを行う。
思考力、判断力、表現力等	イメージマップを完成させ、筋道を立てて英文作りができています。	共同スライドにイメージマップを作成し、他者参照しながら活動を進める。
主体的に学習に取り組む態度	日本の良さや伝統について積極的に調べ、イメージマップの作成に取り組んでいる。また、授業後に学んだことの振り返りができている。	デジタルポートフォリオに振り返りを記入し、自己評価を促す。

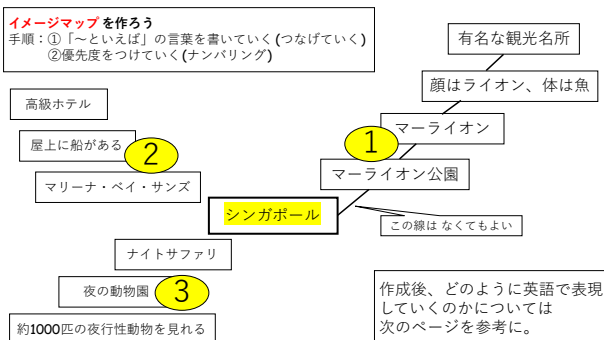
(2) 教材

タブレット端末

(3) 学習指導場面の工夫

学習形態	場面・工夫
一斉指導	まず導入（①、②）では、英語でのあいさつやスモールトークを通して、英語の雰囲気作りに努める。本時の目標を提示する前に、シンガポールのイメージマップの作成例を提示する。
個別最適な学び	展開（③、④）では、生徒一人一人が自分のペースで、イメージマップの作成に取り組む。日本の良さや伝統をインターネットで調べながら活動を進める。
協働的な学び	まとめ（⑤）では、共同スライドを他者参照しながら活動を進めることで新たな気付きや考えにつなげる。また、お互いにコメントや感想を伝え合うことで、コミュニケーションの基礎作りにつなげる。

(4) 補足資料

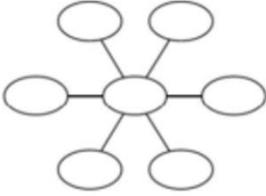


I'll tell you about (国名).
First, you can see Merlion in the park. The face looks like a lion but the body looks like a fish. I think that it is the most famous place in Singapore.

Second, you can stay at ~.

You should visit (国名) someday.

(5) 学習の展開

資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（学習活動の場面）				
具体的な場면을記載 生徒はこれまで、身の回りの比較したり、クラス内の人気アンケートをとり英語で表現したりしてきている。本時の展開では、日本の良さや伝統がよりよく海外の人に伝わるように、大きさや特徴を比較級・最上級を活用して表現できるよう支援する。また、個別学習と共同学習のそれぞれの利点を生かし、他者参照をしながら自分の考えをよりよくできるようにする。				
	学習者の活動	「深い学び」につながる学習形態における支援	学習形態	GIGA 端末・クラウド環境の活用
導入 10分	1 あいさつ、スモールトークを行う。 2 シンガポールの紹介文を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 英語授業の雰囲気づくりをする。 イメージマップを活用し、次の学習のイメージづくりの支援をする。 	一斉 一斉	Teams （本時の課題の確認）
展開 35分	3 今日のテーマを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">日本の良さや伝統について調べよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> イメージマップを活用する。 既習の語句や表現を用いてまとまりのある文章づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を活用し、自分のペースで日本の良さや伝統について調べる。 	個別	スプレッドシート （イメージマップと英作文の作成）
	4 考えを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 他者参照を促し、新たな気付きや考えにつなげる。 	協働	スプレッドシート （他者参照）
まとめ 5分	5 本時で学んだことを振り返る。			スプレッドシート （振り返り）